

## 迫川地区民有林直轄治山事業 完了判定委員会 議事概要

1. 日時 平成 29 年 12 月 21 日 13:30～15:30

2. 場所 宮城県自治会館 208 会議室

3. 出席者（委員）

宮城 豊彦（東北学院大学教養学部地域構想学科教授）

千葉 則行（東北工業大学工学部都市マネジメント学科教授）

大丸 裕武（(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所研究ディレクター  
（国土保全・水資源研究担当））

田中 均（宮城県農林水産部森林整備課長）

菅原 信二（栗原市産業経済部長）

島内 厚実（東北森林管理局計画保全部長）

4. 議事内容

(1) 事業の完了に向けて

- ・ 治山施設の施工状況について説明があった。
- ・ 事業により確認された効果について説明があった。
- ・ 移管後の管理に向けた施策について説明があった。

(2) 検討内容

- ・ 荒廃率や植生の回復状況から判断して、事業の効果は十分であることを確認した。
- ・ 今後の維持管理にあたって、個表等の活用が有効であることを確認した。
- ・ 個表への追加すべき記載内容について確認した。
- ・ 経過観察箇所においては、豪雨等による被害の拡大とともに、流木災害にも十分な注意を払うことを確認した。
- ・ 移管後の施設の維持管理に必要な資料を追加することを確認した。

(3) 検討結果

- ・ 移管に関わる調査や資料の取りまとめについて、宮城県の意見を取り入れながら実施する。
- ・ 平成 30 年度までの計画を滞りなく実行することにより、本事業の完了は妥当であると判定する。

以上